

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	緊急通報システム事業				開始年度	H19	
基本目標	高齢者世帯等の安全確保と不安解消				終了年度		
担当課(局)	健康福祉課	担当係	介護・高齢者福祉係	記入者	浜野智子	評価者	井上敏郎
20年度決算	238	千円	21年度予算	623	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	719 千円		21年度人件費	728 千円		事業従事者数	0.10 人 0.10 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	高齢者世帯等の安全確保と不安解消
事業の内容	概ね65歳以上の高齢者のみの世帯及び身体障害者のみの世帯等で対象者の現況等を勘案し、課税状況に応じて緊急通報装置を貸与

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 救急通報機器設置者数	委託事業者からの定期的な安否確認が行われることにより、生活の不安が解消された。
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 民生委員会での広報	民生委員にシステムの説明・対象者の周知・把握
	2	
	3	

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度
成果指標	救急通報機器設置者数	目標値			22
		実績値	人	10	13
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標	民生委員会での広報	目標値			1
		実績値	回	1	1
		達成率	%	100.0%	100.0%
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
0	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	高齢者等の安全確保や不安解消に関する事業は町が主体となるべきであり、収入の少ない高齢者等に対しては、一定の補助が必要である。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	フリーダイヤルでの緊急通報や健康相談が可能で、事故や詐欺被害等を未然に防止できる。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	現時点で緊急通報につながったケースはなく、経費についても妥当な金額である。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	民生委員・近隣住民等が協力員として対象者を総合的にサポートする。

事務事業名	緊急通報システム事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	日常的な安全確保や精神定期不安の解消のみならず、災害時の緊急通報にも有効な手段であり、今後も設置促進を図りたい。	今後の方向性				
			拡充				○
			現状維持				
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎要援護者リストの完成に合わせ、防災面からも再度、町負担の検討をすべきと考える。
	コスト	現状維持	